

事務事業 事後評価シート（令和6年度実施事業）

事務事業名	議会活動事業				事業通番	4452			
					開始年度	令和3年度			
総合計画体系	政策No.	7	政策名	町民に信頼される行政の推進		終了年度	--		
	施策No.	7-3	施策名	町民参加の推進		担当課名	議会事務局		
予算科目	会計	一般会計		款	議会費		担当係名	総務係	
	項	議会費		目	議会費		重点プロジェクト		

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	会津美里町議会基本条例第13条 会津美里町議会基本条例第16条						
事務事業の概要	議会活動として必要な会議等への出席、陳情・要望活動への参加、議会だよりの発行、並びに資質・政策立案の能力向上を図るための視察研修を行う。また、図書・消耗品を整備し、スムーズな議会活動に備える。						
対象（誰、何を）	①町議会議員 ②町民						
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	①資質及び政策立案能力が高まる。 ②議会活動や町民の意見、要望に対する対応等を知ることができる。						
成果の考え方	①政策提言等の件数 ②議会だよりの発行回数						
【成果指標】							単位
A	政策提言等の件数						件
B	議会だよりの発行回数						回

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移

区分	3年度(決算)	4年度(決算)	5年度(決算)	6年度(決算)	7年度
事業費(千円)	1,596	1,580	2,293	2,548	
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他					
一般財源	1,596	1,580	2,293	2,548	

(2) 指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
A	2	2	2	2	
	2	1	4	3	
B	4	4	4	4	
	4	4	4	4	

(3) 活動実績及び成果

活動実績	・ 決算に対する提言書、行政視察を踏まえた提言書、町民との意見交換会を踏まえた提言書を提出した。 ・ 議会だよりを4回発行した。 ・ 町民の方の声を聴くため、意見交換会及び町民アンケートを実施した。 ・ 資質・政策立案の能力向上を図るため、行政視察研修を行った。
成果	・ 地域別や会津西陵高校での意見交換会の開催及び町民アンケートの実施により、町民の声を丁寧に聞くことができた。 ・ 行政視察研修を行い、町の課題等に対し提言をすることができた。 ・ 議会だよりについては、広報モニターの意見を取り入れながら、親しみやすい紙面となるように努めたことにより、町民アンケートで良い評価を得ることができた。

3. 最終評価

成果の方向性	現状維持	(理由) 親しみやすく分かりやすい議会だよりの発行及び町民の声を聞く意見交換会の実施を継続する。また、議員の資質向上のため、研修を継続して行っていく。
コストの方向性	現状維持	(理由) 事業の進め方等について検討を行っていくが、議員の資質向上及び議会活動を町民に知ってもらうためには必要な経費であるため現状維持とした。
今後の方向性	現状維持	(理由) 継続して議会活動の周知及び議員の資質向上に努める。

事務事業 事後評価シート（令和6年度実施事業）

事務事業名	広報広聴事業				事業通番	4476	
					開始年度	令和3年度	
総合計画体系	政策No.	7	政策名	町民に信頼される行政の推進	終了年度	--	
	施策No.	7-3	施策名	町民参加の推進	担当課名	政策財政課	
予算科目	会計	一般会計		款	総務費	担当係名	政策企画係
	項	総務管理費		目	広報広聴費	重点プロジェクト	

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	会津美里町町政広報に関する規則、会津美里町情報セキュリティポリシー、会津美里町公式ホームページの電子記事に関する要綱						
事務事業の概要	町民に町の情報を提供するため、広報紙を毎月発行し、自治区長を通じて町内各戸に配布するほか、町のホームページにより町内外に行政情報を発信する。 令和6年度は、LINEの機能拡充や広報紙面改善後の運用、広報紙の外部委託について検討する。						
対象（誰、何を）	①町民 ②町内外の方						
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	①広報紙により、必要な町の情報を得られる。 ②ホームページ及びSNSにより、必要な町の情報を得られる。						
成果の考え方	①広報紙の発行は町民への行政情報提供を目的としていることから、町民が広報紙から十分に情報を得られていると思うことが最終的な成果になると捉え、Aの指標を設定する。 ②町ホームページやSNSは、町内外の方がタイムリーに必要な情報を得られるツールであることから、町ホームページから十分に情報が得られていると思うことが最終的な成果になると捉え、Bの指標を設定する。						
【成果指標】						単位	
A 「広報紙による情報提供について、必要な情報が役場から十分に提供されている」と答えた割合						%	
B 「ホームページ・SNSによる情報提供について、必要な情報が役場から十分に提供されている」と答えた割合						%	

2. 事業の実績

（1）事業費等の推移

区分	3年度(決算)	4年度(決算)	5年度(決算)	6年度(決算)	7年度
事業費(千円)	5,978	17,773	7,048	7,825	
国庫支出金	35	11,000	35		
県支出金	302	337	299	298	
地方債					
その他	590	345	524	497	
一般財源	5,051	6,091	6,190	7,030	

（2）指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
A	90	90	90	90	
	85.1	85.6	88.6	86.5	
B	70	70	70	70	
	64.7	53.6	55.4	57.7	

（3）活動実績及び成果

活動実績	・若い世代に向けた記事に関しては、詳細情報の閲覧をQRコードを用いてホームページへ誘導するなど、ページ数の削減を図った。 ・広報業務の外部委託へ向けての準備を行った。
成果	・令和5年度平均ページ数33ページから令和6年度26ページに削減できた。 ・広報委員会での意見聴取、令和7年度予算措置、仕様の作成等外部委託の詳細を決定した。

3. 最終評価

成果の方向性	拡充	（理由） ホームページやLINEへの関心が高くなっているため、より重点を置き効果的に情報発信していく。
コストの方向性	現状維持	（理由） 広報紙作成の一部を外部委託するため一時的に費用が増加するが、職員の時間外が減少することが見込まれる。
今後の方向性	生産性改善	（理由） ホームページやLINEと広報紙との連携を促進し、住民に対し幅広い情報提供に努める。

事務事業 事後評価シート（令和6年度実施事業）

事務事業名	町民参加推進事業				事業通番	5110	
					開始年度	令和3年度	
総合計画体系	政策No.	7	政策名	町民に信頼される行政の推進	終了年度	--	
	施策No.	7-3	施策名	町民参加の推進	担当課名	政策財政課	
予算科目	会計	一般会計		款	総務費	担当係名	政策企画係
	項	総務管理費		目	企画費	重点プロジェクト	

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	会津美里町みんなの声をまちづくりにいかす条例						
事務事業の概要	みんなの声をまちづくりにいかす条例に基づく、町民参加による検討会議、町民懇談会、パブリックコメントなどの町民参加を推進する。また、町民参加推進会議において、条例に基づき適正に実施されているかを協議するとともに、さらなる町民参加を推進するための取組についての検討を行う。						
対象（誰、何を）	①町民 ②行政活動への町民参加						
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	①町民参加の制度を普及させる。 ②行政活動への町民参加を推進する。						
成果の考え方	①町民の声を活かした町民主体のより良いまちづくりを実現するため、町民参加制度を普及させ、町民参加の機会があると考えられる町民の割合を成果として、Aの指標を設定する。 ②行政活動への町民参加を推進するため、町民参加手続きによる町民懇談会に参加した人数を成果とし、Bの指標を設定する。						
【成果指標】						単位	
A まちづくりに対して意見を言う機会があると考えられる町民の割合						%	
B 町民懇談会の平均参加人数						人	

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移						(2) 指標の推移						上段：目標値 下段：実績値	
区分	3年度(決算)	4年度(決算)	5年度(決算)	6年度(決算)	7年度	成果指標	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度		
事業費(千円)	50	47	47	56		A	45	45	45	45			
国庫支出金							43.3	43.2	46.6	52.4			
県支出金							10	10	10	10			
地方債						B	12.3	20	31.9	8.6			
その他													
一般財源	50	47	47	56									

(3) 活動実績及び成果

活動実績	・ 条例に基づき、適正な運用と町民参加を推進するため、町民参加推進会議を2回開催した。 ・ 47件の町民参加手続を実施した。そのうち町民懇談会を11回開催し95人の参加、パブリックコメントを5回実施し、9件の意見が提出された。						
成果	・ 町民参加推進会議において、町民参加制度の運用について評価検証を行い、情報発信方法等について一定の改善等を図ることができた。						

3. 最終評価

成果の方向性	現状維持	(理由) 町民参加推進会議において、町民参加の推進のため、事業の取組や情報の発信方法等について協議・検討するとともに町民推進会議の在り方についても見直し検討する。
コストの方向性	現状維持	(理由) 会議開催に係る費用等最小の経費で取り組んでいるため現状維持とする。
今後の方向性	現状維持	(理由) 継続して町民参加を推進するため、あらゆる年齢層の町民が参加しやすい環境の整備や情報の発信に努める。

事務事業 事後評価シート（令和6年度実施事業）

事務事業名	選挙管理委員会運営事業				事業通番	5562	
					開始年度	令和3年度	
総合計画体系	政策No.	7	政策名	町民に信頼される行政の推進	終了年度	--	
	施策No.	7-3	施策名	町民参加の推進	担当課名	総務課	
予算科目	会計	一般会計		款	総務費	担当係名	総務係
	項	選挙費		目	選挙管理委員会費	重点プロジェクト	

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	公職選挙法、会津美里町選挙管理委員会規程、会津美里町白バラ会補助金交付要綱						
事務事業の概要	【選挙管理委員会】 選挙に関する事務及び公職選挙法に規定された事務を行う。 （選挙管理委員会委員任期）令和3年12月26日から令和7年12月25日まで 【白バラ会】 明るい選挙を推進していくため、会津美里町白バラ会に対し予算の範囲内で補助金を交付する。						
対象（誰、何を）	①会津美里町選挙管理委員会 ②会津美里町白バラ会						
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	選挙の啓発活動の実施や研修会等に参加し明るい選挙を推進していく。						
成果の考え方	選挙の公正かつ適正な執行が確保される。 投票を呼びかける啓発活動を実施し投票率向上に結びつくよう選挙を推進する。						
【成果指標】							単位
A	選挙管理委員会の開催回数						回
B	白バラ会の総会、研修会、啓発活動の実施回数						回

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移						(2) 指標の推移						上段：目標値 下段：実績値	
区分	3年度(決算)	4年度(決算)	5年度(決算)	6年度(決算)	7年度	成果指標	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度		
事業費(千円)	623	655	625	637		A	8	10	10	10			
国庫支出金							13	10	7	7			
県支出金							5	5	5	5			
地方債							3	3	3	4			
その他						B							
一般財源	623	655	625	637									

(3) 活動実績及び成果

活動実績	【選挙管理委員会】公職選挙法に基づく選挙人名簿登録等に関する委員会を開催し、適正な選挙管理に努めた。 【白バラ会】衆議院選で通常の啓発活動のほか20歳を祝う会において啓発冊子等を配布するなど、投票率向上の取り組みを行った。総会1回、研修会0回（県実施無し）、啓発活動3回（盆踊り、衆院選、20歳を祝う会）						
成果	【選挙管理委員会】定時登録のほか執行選挙に伴う委員会を開催し、適正な選挙管理が図られた。 【白バラ会】総会及び役員会において役員・会員間で情報共有を図るとともに、啓発活動(20歳を祝う会)の実施により選挙制度の推進が図られた。						

3. 最終評価

成果の方向性	拡充	(理由) 指標の推移は、選挙の有無によって影響される。白バラ会の活動は精力的であり、今後も活動を支援していくことで、投票率の向上にも寄与していく。
コストの方向性	現状維持	(理由) 現状のコストで効果的な啓発活動及び投票率向上に取り組んでいく。
今後の方向性	生産性改善	(理由) 若年層に対する選挙に対する関心を高める活動に取り組むとともに、各種選挙時における啓発活動を継続的に実施し、投票率の維持・向上を図っていく。